

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 昭和パックス株式会社

コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 弘征

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土田 隆夫

TEL 03-3269-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,699	0.4	236	6.7	294	11.2	186	24.9
23年3月期第1四半期	4,681	27.7	221	—	264	—	149	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 191百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	20.99	—
23年3月期第1四半期	16.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,994	—	9,052	—	—	43.8
23年3月期	19,269	—	8,925	—	—	44.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,767百万円 23年3月期 8,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	0.5	490	△7.3	520	△9.9	320	△6.7	36.01
通期	20,000	2.8	940	△7.4	1,010	△8.9	640	3.0	72.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	8,900,000 株	23年3月期	8,900,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	13,743 株	23年3月期	13,250 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	8,886,273 株	23年3月期1Q	8,888,750 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値を異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）におけるわが国経済は、3月の東日本大震災によって3～4月に生産や消費が大幅に落ち込んだ後、当初予想を上回るサプライチェーンの回復や一部復興需要により、徐々に持ち直しつつあります。しかし、震災の影響は大きく、第1四半期の実質GDP成長率のマイナス幅は1～3月期より拡大する見通しです。

第2四半期以降は、生産の持ち直しや復興需要の発生等から国内景気は緩やかな回復軌道に復していくものと期待されておりますが、電力供給力の制約、海外経済の停滞感、為替変動の輸出への影響、資源価格の上昇による交易条件の悪化傾向などの懸念要因があり、予断を許さない状況です。

当社グループの主要事業は産業用包装資材の製造・販売であり、出荷数量は国内生産動向の影響を受けやすい体質にあります。当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、顧客の一部が被災したことによる重包装袋の出荷減少は避けられませんでした。他の顧客の需要をきめ細かくフォローしたこと、フィルム製品の販売を伸ばしたこと、子会社のタイ昭和パックス㈱、山陰製袋工業㈱が順調であったこと等により、売上高は4,699百万円で前年同期に比して17百万円の微増となりました。損益につきましては、売上の増加に加えて、費用抑制策の効果、営業外収益の増加等があり、営業利益236百万円（前年同期比14百万円の増益）、経常利益294百万円（同29百万円の増益）、四半期純利益186百万円（同37百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の第1四半期出荷数量（ゴミ袋を除く）は一部需要家被災の影響があり前年同期比△3.8%と減少しました。

当社の売上数量は前年同期比△8.3%であり、業界全体よりも減少幅が大きくなりました。当社のシェアが高い合成樹脂用途の需要が石油化学プラントの被災で落ち込んだことが主な理由です。

子会社の九州紙工㈱の売上数量も九州地区の需要低迷で前年同期比△9.4%となりました。タイ昭和パックス㈱の第1四半期（1～3月）は、売上数量前年同期比+0.7%と堅調でした。山陰製袋工業㈱の第1四半期（1～3月）は前年同期比で+12.7%と売上数量を伸ばしました。

当セグメントの第1四半期連結売上高は2,947百万円で、前年同期に対し6.4%の減収となりました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の第1四半期の出荷量は、前年同期から産業用は増加、農業用は減少となり、合計では微増でした。主原材料であるポリエチレン樹脂価格が値上がりしたため、採算は悪化する傾向にあります。

当社の売上数量は、需要を細かく捉えて機動的に生産・出荷を行ったことで前年同期比+32.8%と大きく増加しました。産業用、農業用いずれも数量を伸ばしました。

当セグメントの第1四半期連結売上高は1,038百万円で、前年同期に対して21.2%の増収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンの第1四半期は海外からの輸入量が前年同期を大きく上回り、流通量は増加していると推測されます。

当社の自社製ワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は食品用途向けが伸びて前年同期から微増、輸入販売品は樹脂、飼料、食品用途向けが大きく伸び、全体では前年同期比+20.0%となりました。一方で、大型コンテナバッグ「バルコン」の売上数量は前年比△5.4%と減少しました。

当セグメントの第1四半期連結売上高は412百万円で、前年同期に対して14.5%の増収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はありませんでしたが、前期中に本社ビルの賃貸料を改訂した関係で、当セグメントの第1四半期連結売上高は前年同期比で5.8%減少し、61百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当社グループの当連結第1四半期末総資産は19,994百万円で、前連結会計年度末に比べて724百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金284百万円、商品及び製品286百万円、有形固定資産261百万円です。

(負債)

負債合計は10,942百万円で、前連結会計年度末に比べて598百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金128百万円、短期借入金108百万円、主な減少要因は賞与引当金139百万円です。

(純資産)

純資産合計は9,052百万円で、前連結会計年度末に比べて126百万円増加しました。これは主に四半期純利益186百万円及び剰余金の配当62百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は東日本大震災の影響が危惧されましたが、諸施策が奏功し当社グループの業績は、前年同期比で増収増益の結果となりました。しかし、第2四半期以降の景気動向には不確定要因が多くわが国経済が震災前の水準に回復するにはなお時間を要すると思われます。当社グループも全般の景気動向のほか、原材料である原紙・樹脂価格の市況動向が不透明なこと等の不確定要因を抱えます。

当連結会計年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、当初の予想（平成23年5月12日発表）を変更せず、連結売上高20,000百万円、連結経常利益1,010百万円、連結当期純利益640百万円を見込みます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,663,081	3,947,641
受取手形及び売掛金	5,780,167	5,723,960
商品及び製品	1,308,553	1,594,603
仕掛品	116,423	119,006
原材料及び貯蔵品	961,051	970,996
繰延税金資産	202,620	203,199
その他	248,425	173,221
貸倒引当金	△22,744	△8,547
流動資産合計	12,257,578	12,724,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,195,999	6,302,911
減価償却累計額	△4,237,368	△4,269,154
建物及び構築物(純額)	1,958,631	2,033,757
機械装置及び運搬具	7,562,376	7,625,839
減価償却累計額	△6,440,963	△6,512,906
機械装置及び運搬具(純額)	1,121,412	1,112,933
土地	847,789	850,223
リース資産	7,362	39,592
減価償却累計額	△2,510	△3,798
リース資産(純額)	4,851	35,794
建設仮勘定	148,182	312,138
その他	598,447	603,219
減価償却累計額	△523,343	△530,582
その他(純額)	75,103	72,636
有形固定資産合計	4,155,970	4,417,483
無形固定資産		
リース資産	3,694	3,403
ソフトウェア	40,743	38,781
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	53,668	51,414
投資その他の資産		
投資有価証券	2,485,160	2,464,928
繰延税金資産	4,791	4,816
その他	379,117	398,225
貸倒引当金	△66,511	△66,481
投資その他の資産合計	2,802,557	2,801,489
固定資産合計	7,012,196	7,270,387
資産合計	19,269,775	19,994,470

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,292,264	4,421,036
短期借入金	2,907,600	3,016,500
未払法人税等	267,211	133,554
賞与引当金	332,571	193,008
役員賞与引当金	24,260	18,675
環境対策引当金	3,980	3,980
リース債務	2,663	7,497
繰延税金負債	1,707	1,632
設備関係支払手形	4,450	25,577
その他	623,112	1,229,642
流動負債合計	8,459,822	9,051,104
固定負債		
長期借入金	786,000	782,000
退職給付引当金	103,064	111,201
役員退職慰労引当金	83,926	84,552
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	3,836	3,836
負ののれん	227,985	213,736
リース債務	6,487	33,620
繰延税金負債	461,846	451,943
長期預り保証金	197,014	196,250
固定負債合計	1,884,166	1,891,146
負債合計	10,343,988	10,942,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,408,691	7,533,032
自己株式	△6,193	△6,403
株主資本合計	8,332,844	8,456,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,773	359,210
為替換算調整勘定	△63,953	△48,821
その他の包括利益累計額合計	309,819	310,388
少数株主持分	283,122	284,855
純資産合計	8,925,786	9,052,219
負債純資産合計	19,269,775	19,994,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,681,534	4,699,038
売上原価	3,846,788	3,855,336
売上総利益	834,745	843,702
販売費及び一般管理費	612,975	607,132
営業利益	221,769	236,569
営業外収益		
受取利息	387	223
受取配当金	34,829	35,102
負ののれん償却額	14,249	14,249
為替差益	411	4,180
貸倒引当金戻入額	—	14,322
その他	8,309	5,121
営業外収益合計	58,186	73,199
営業外費用		
支払利息	14,847	14,415
その他	530	1,260
営業外費用合計	15,378	15,675
経常利益	264,578	294,092
特別利益		
固定資産売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	76	451
環境対策引当金繰入額	17,985	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,385	—
特別損失合計	28,446	451
税金等調整前四半期純利益	236,132	293,653
法人税、住民税及び事業税	82,518	104,699
法人税等調整額	1,236	△578
法人税等合計	83,755	104,120
少数株主損益調整前四半期純利益	152,376	189,532
少数株主利益	3,064	2,984
四半期純利益	149,312	186,547

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152,376	189,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194,874	△14,576
為替換算調整勘定	29,373	16,813
その他の包括利益合計	△165,501	2,237
四半期包括利益	△13,124	191,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,126	187,117
少数株主に係る四半期包括利益	6,001	4,652

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,149,390	857,288	360,146	65,758	4,432,584	248,949	4,681,534
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,149,390	857,288	360,146	65,758	4,432,584	248,949	4,681,534
セグメント利益又は損失(△)	272,535	23,597	7,703	37,836	341,672	△119,902	221,769

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	341,672
「その他」の区分の利益	16,181
全社費用(注)	△136,084
連結財務諸表の営業利益	221,769

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,947,068	1,038,942	412,401	61,932	4,460,345	238,693	4,699,038
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,947,068	1,038,942	412,401	61,932	4,460,345	238,693	4,699,038
セグメント利益又は損失(△)	231,530	93,856	△2,086	35,354	358,654	△122,085	236,569

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	358,654
「その他」の区分の利益	16,226
全社費用 (注)	△138,311
連結財務諸表の営業利益	236,569

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。